

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
大事業	051	社会福祉総務事業							
中事業	01	社会福祉総務事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	社会福祉法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	更生保護事業法により定められた者に対し、自立更正に必要な保護活動を支援します。また、地方分権一括法による移譲事務として、社会福祉法人認可・指導監査事業を実施し、社会福祉法人の適正化を図ります。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 更生保護事業 毎年7月に社会を明るくする運動の協力募金、推進大会等を実施。また年間を通して、坂井地区保護司会、更生保護女性会が、犯罪や非行の防止、改善等更生保護に関する運動を実施。 社会福祉法人等指導監査事業 坂井市が所轄庁として実施。社会福祉法人の運営や会計等指導監査に要する経費で、28年度は10法人が対象。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,445	1,733	2,772
	人件費	8,391	5,332	5,622
	総事業費	9,836	7,065	8,394
人員	正職員	1.25 人	0.75 人	0.80 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.25 人	0.75 人	0.80 人
財源内訳	国県支出金	13	94	93
	その他特定財源			
	一般財源	9,823	6,971	8,301

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	予算・決算の推移（H28～人権擁護事業 所管替）	千円	目標		1,768	3,268	2,053
			実績		1,719	2,759	1,540
		達成率(%)	0.00	97.23	84.42	75.01	
指標の説明		H28から所管替のため実績等なし					
活動	更生保護法例外負担金	千円	目標	164	164	164	172
			実績	164	164	164	163
		達成率(%)	100.00	100.00	100.00	94.77	
指標の説明		更生保護事業協会への負担金額					
活動	社会福祉法人等指導監査対象法人数	法人数	目標	10	8	11	8
			実績	10	8	19	8
		達成率(%)	100.00	100.00	172.73	100.00	
指標の説明		該当年度の指導監査対象法人数					
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明		ほぼ目標を達成している。					
指標に基づく評価							

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	更生保護事業、法人監査事業とも、必要なものであり、内容も適正であるが、法人監査事業については、今年度より監査内容を充実させることで監査周期を延長する予定であり、事務量、事務費とも削減していくと思われる。しかし、監査担当職員の知識習得が必須である。		
これまでの見直しや改善等の実績	特になし		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度			目標年度	
方向性の説明	社会福祉法人の運営適正化のため、今後も継続が必要である。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	01 社会福祉総務費
大事業	101	社会福祉協議会運営補助事業				
中事業	01	社会福祉協議会運営補助事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（団体補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		社会福祉課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニフェスト	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井市社会福祉協議会が行う事業及び人件費に要する経費に対して支援し、地域福祉の推進を図ります。
実施手段等	1. 運営事業に対する補助（社会福祉協議会職員の人件費及び事務費） 2. 活動事業に対する補助 地域づくり活動、ボランティア活動、総合相談事業 3. 施設運営事業（施設維持管理に対する補助） 本部、春江総合福祉センター、坂井老人福祉センター

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度	
コスト	事業費	153,454	136,701	143,365	
	人件費	1,343	2,844	2,460	
	総事業費	154,797	139,545	145,825	
人員	正職員	0.20 人	0.40 人	0.35 人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人員計	0.20 人	0.40 人	0.35 人	
財源内訳	国県支出金				
	その他特定財源				
	一般財源	154,797	139,545	145,825	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	坂井市社会福祉協議会運営補助金	千円	目標				
			実績	153,453	136,701	143,365	152,967
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		該当年度の補助金額					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		市の福祉には欠かせない団体補助であり、内容も複雑であるため一概には言えないものの、大変高額である。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題 決算状況を踏まえながら、事業内容を精査し、金額の妥当性を検討していく必要がある。
これまでの見直しや改善等の実績	平成27年度より、決算資料等の内容をより一層厳格に精査し、社会福祉協議会に提言しているが、今のところ補助金の削減には至らない。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	事業に対する人件費が適正か、事業に妥当性があるかなどを精査するとともに、多額の繰越額がある現状と今後の運用方法について、社協と話し合いを進めていく予定である。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
大事業	151	民生児童委員協議会活動補助事業							
中事業	01	民生児童委員協議会活動補助事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	民生委員法、児童福祉法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	民生委員・児童委員活動を支援し、地域福祉の向上を図ります。
実施手法等	民生委員・児童委員が地域で行う活動、また識見向上のための研修会の参加等に対し補助を行う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	8,035	7,139	7,139
	人件費	16,447	1,137	16,204
	総事業費	24,482	8,276	23,343
人員	正職員	2.45 人	0.16 人	2.28 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	2.45 人	0.16 人	2.28 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	24,482	8,276	23,343

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	坂井市民生委員児童委員協議会交付金	千円	目標	7,140	7,140		
			実績	7,140	7,140	7,140	7,023
			達成率(%)	100.00	100.00	0.00	0.00
指標の説明		該当年度の単位民児協への活動補助金					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		目標を達成している。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	地域福祉のため必要な事業であるが、後継者不足が課題である。	
これまでの見直しや改善等の実績	特になし	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度			目標年度	
方向性の説明	地域福祉向上のため、今後も継続が必要な事業である。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
大事業	201	戦没者遺族援護事業							
中事業	01	戦没者遺族援護事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		社会福祉課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	戦没者遺族の福祉向上と英霊の顕彰、ならびに会員相互の修養、親睦を図ります。
実施方法手段等	坂井市戦没者追悼式事業を坂井市英霊顕彰奉賛会へ委託し、坂井市遺族連合会への運営を補助する。 ■委託料 ■負担金、補助金及び交付金

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,131	2,131	2,215
	人件費	11,681	355	8,012
	総事業費	13,812	2,486	10,227
人員	正職員	1.74 人	0.05 人	1.14 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.74 人	0.05 人	1.14 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	13,812	2,486	10,227

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	坂井市内遺族会員数 H27～H29 3年ごとに見直し	人	目標	1,561	1,561	1,730	1,730
			実績	1,561	1,561	1,730	1,730
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		遺族会員数					
活動	坂井市遺族連合会運営補助 坂井市全没者追悼式開催事業	千円	目標	2,131	2,131	2,215	2,215
			実績	2,131	2,131	2,215	2,215
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	遺族会活動については、補助金を主な財源とし遺族の高齢化による会員減少がみられるなかでも英霊顕彰を行う遺族援護事業は必要。戦没者追悼式においても市が主催市英霊顕彰奉賛会に委託し開催しているが今後、後継者への継承が課題である。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
	現状：坂井市内の遺族会員の数の減少がみられるが、日本遺族会、県遺族会から後継者づくりについて取り組むことになっている。 課題：後継者づくり 会員数の減少		
これまでの見直しや改善等の実績	現状維持		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度			目標年度	
方向性の説明	現状維持			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
大事業	251	災害時要援護者支援事業							
中事業	01	災害時要援護者支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	災害対策基本法、個人情報の保護に関する法律			
根拠例規	有	坂井市個人情報保護条例・同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市地域防災計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	地域の中で災害時要援護者の情報を共有し、災害時等の避難誘導、安否確認などに活用するとともに、普段からの見守り体制の構築等、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
実施手段等	高齢者や障がい者など災害発生時に自力で危難するのが困難な方を地域で支援する「災害時要援護者支援制度」の推進に取り組む。本人同意の上、対象者情報を、自治会、民生委員、社会福祉協議会、消防、警察に提供して災害時に備え、また平時から地域見守り体制の構築に活用してもらう。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	107	1,154	99
	人件費	3,625	4,265	4,217
	総事業費	3,732	5,419	4,316
人員	正職員	0.54 人	0.60 人	0.60 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.54 人	0.60 人	0.60 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	3,732	5,419	4,316

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	災害時要援護者登録者数	人	目標	12,300	11,900	11,000	11,000
			実績	4,742	4,213	4,276	4,332
			達成率(%)	38.55	35.40	38.87	39.38
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	自然災害が多発する近年、東日本大震災や熊本地震発生に伴い、災害や防災に対する意識が高まってきている。発災時において当該制度が有効に運用されるよう周知・訓練への活用を推進していくことが必要。市民が自分の地域は自分が守るという意識を持つことが肝要。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	効率性に課題：更新事務についてシステムの変更が必要。 有効性に課題：発災時に当該制度が有効に活用されるよう防災訓練等での活用の検討。		
これまでの見直しや改善等の実績	特になし		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	災害時における効果的な要配慮者支援に必要な制度です。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
大事業	301	地域自殺対策緊急強化事業							
中事業	01	地域自殺対策緊急強化事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	自殺対策基本法、自殺総合対策大綱			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	県の「地域自殺対策緊急強化基金」を活用し、地域における自殺対策力の強化を図ります。
実施手法等	東尋坊（自殺のハイリスク地）を訪れる自殺企図者に対し、自殺対策防止事業として安全パトロールを行い、一時宿泊施設（シェルター）を設置する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度	
コスト	事業費	5,580	5,580		
	人件費	1,410	355	0	
	総事業費	6,990	5,935	0	
人員	正職員	0.21 人	0.05 人	人	
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	人	
	人員計	0.21 人	0.05 人	0.00 人	
財源内訳	国県支出金	5,580	5,580		
	その他特定財源				
	一般財源	1,410	355	0	

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	緊急一時宿泊施設利用人数（H21～実施）	人	目標	45	40	45	45
			実績	37	40	20	46
			達成率(%)	82.22	100.00	44.44	102.22
指標の説明							
指標	自殺企図者発見・保護人数（H21～実施）	人	目標	50	50	55	55
			実績	38	33	32	51
			達成率(%)	76.00	66.00	58.18	92.73
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	年度によって実績のばらつきはあるものの、活動の成果は出ている。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	100%県費補助事業であり、自殺企図者の保護に必要なものである。	
これまでの見直しや改善等の実績	特になし	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度			目標年度	
方向性の説明	自殺対策に有効な事業であり、今後も継続が必要である。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	01	社会福祉総務費
大事業	401	臨時福祉給付金事業							
中事業	01	臨時福祉給付金事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無	（簡素な給付措置として、国での立法措置なし）			
根拠例規	有	坂井市臨時福祉給付金支給事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	平成26年に行った消費税率引き上げによる住民生活への負担影響を鑑み、低所得者に対し、臨時的に適切な配慮を行います。
実方手法等段	低所得者に対し、給付金給付事業を実施する。 1. 簡素な給付措置 2. 年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族年金受給者）（高齢者）

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	302,943	93,464	163,592
	人件費	10,070	9,953	10,542
	総事業費	313,013	103,417	174,134
人員	正職員	1.50 人	1.40 人	1.50 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.50 人	1.40 人	1.50 人
財源内訳	国県支出金	306,575	78,703	166,688
	その他特定財源			
	一般財源	6,438	24,714	7,446

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	臨時福祉給付金給付事業	千円	目標	318,000	114,145		
			実績	264,420	69,664	116,681	
			達成率(%)	83.15	61.03	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価							

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	国の施策であり、100%補助事業である。	
これまでの見直しや改善等の実績	特になし	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性	
目標年度			目標年度	
方向性の説明	国の方向性による。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	001	心身障害者福祉事業							
中事業	01	心身障害者福祉事務事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		社会福祉課所管補助金等交付要綱		
関連計画・マニュアル	有		坂井市福祉保健総合計画		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	障がい者団体等の活動を支援することで、障がい者やその家族同士の交流や地域活動の参画、生きがい活動、情報交換などの取り組みについて支援し、障がい者福祉の推進を図ります。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者相談員として、身体障害者相談員に13名、知的障害者相談員に4名を委嘱し、地域での相談支援、ピアサポートを行う。 坂井市中心身障害児者福祉連合会の活動に対し、補助する。 坂井市身体障害者福祉協会の活動に対し、補助する。 坂井市障害者プラン住民会議の活動に対し、補助をする。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	36,980	37,459	12,145
	人件費	1,074	2,701	4,287
	総事業費	38,054	40,160	16,432
人員	正職員	0.16 人	0.38 人	0.61 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.16 人	0.38 人	0.61 人
財源内訳	国県支出金	108		
	その他特定財源			
	一般財源	37,946	40,160	16,432

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	障がい者相談員の相談受付件数	件	目標				
			実績	50	45	40	102
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
活動	心身連が主催する事業回数(連合会主催と各地区主催)	回	目標				
			実績	12	10	11	
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
成果	心身連が主催する事業の参加者数(連合会主催と各地区主催)	人	目標				
			実績	539	441	523	
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
成果	身体障害者スポーツ大会参加者数(県・市主催)	人	目標				
			実績	78	93	79	
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		目標値は設定していないが、心身連、身体連ともに当事者団体として交流や社会参加の促進等、積極的に活動している。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	NPO法人障害者プラン住民会議に対し、障害の理解促進活動のための補助と障害者の就労支援の委託を実施している。活動内容を精査し、補助と委託の内容を精査する必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	障害者プラン住民会議への補助に関し、補助金等合理化委員会からの指摘事項を踏まえ、H28年度で活動内容等を見直しをした。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		縮小	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	障害者プラン住民会議への補助に関しては、補助金等合理化委員会からの指摘事項を踏まえ、平成28年度で見直し、平成29年度で廃止する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害児(者)福祉費
大事業	001	心身障害者福祉事業				
中事業	06	福祉タクシー利用料金助成事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市福祉タクシー利用料金助成事業要綱		
関連計画・マニフェスト	有		坂井市福祉保健総合計画		

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	自動車を運転できない障がい者の生活圏の範囲を広め、社会参加への促進を図るため、タクシー券を交付します。
実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> 対象者は、身体障害者手帳1～3級、療育手帳A1、A2、B1、B2、精神障害者保健福祉手帳1、2級の所持者。 申請に基づき審査し、月3枚(年間最大36枚)のタクシー券を発行する。 タクシー乗車の際、運賃の支払いに、1枚あたり500円分として利用する。 市は、利用されたタクシー券分を、月1回事業者を支払う。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	7,304	6,834	6,233
	人件費	2,215	3,057	2,249
	総事業費	9,519	9,891	8,482
人員	正職員	0.33 人	0.43 人	0.32 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.33 人	0.43 人	0.32 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	9,519	9,891	8,482

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	交付者数	人	目標	610	600	600	600
			実績	657	630	611	552
			達成率(%)	107.70	105.00	101.83	92.00
成果	指標の説明 県交付状況調べより						
指標	交付枚数	枚	目標	18,000	15,000	13,000	13,000
			実績	21,621	20,937	19,773	11,956
			達成率(%)	120.12	139.58	152.10	91.97
成果	指標の説明 県交付状況調べより						
指標	利用枚数	枚	目標	15,000	13,000	11,000	7,000
			実績	14,528	13,609	12,389	6,457
			達成率(%)	96.85	104.68	112.63	92.24
成果	指標の説明 県交付状況調べより						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標の説明						
指標に基づく評価	交付者数、交付枚数、利用枚数すべてが増加しており、対象となる障害者への周知がされているとともに、ニーズに応じた事業ができていると考えられる。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない
これまでの見直しや改善等の実績	平成28年度に県内全市町の福祉タクシー利用料金の助成について調査した。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害児(者)福祉費
大事業	001	心身障害者福祉事業				
中事業	11	養護学校通学事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井市から特別支援学校に通学する児童・生徒に対して、通学バスの運行を行い、就学を支援するとともに保護者負担の軽減を図ります。
実手法手段	県営通学バスの運行区域外の三国・春江地区から特別支援学校等に通学するためのバスを運行する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	20,349	15,187	14,663
	人件費	873	2,346	2,319
	総事業費	21,222	17,533	16,982
人員	正職員	0.13 人	0.33 人	0.33 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.13 人	0.33 人	0.33 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	21,222	17,533	16,982

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	利用者延べ人数	人	目標				
			実績	7,516	6,081	6,743	6,844
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
活動	養護学校通学事業委託料(運行業務)	千円	目標	20,945	11,880	11,880	11,550
			実績	16,670	11,880	11,880	11,550
			達成率(%)	79.59	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
活動	養護学校通学事業委託料(添乗業務)	千円	目標	3,583	3,552	3,484	3,409
			実績	3,424	3,306	2,783	2,757
			達成率(%)	95.56	93.07	79.88	80.87
指標の説明							
活動	車両数	台	目標				
			実績	4	3	3	3
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		通学バスの台数					
指標に基づく評価		県立特別支援学校には坂井・丸岡方面は県が運行(あわら市も含む)しているが、三国・春江は市が運行している。利用する児童数が増えてきていることから運行費用等の増加がみられる。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	支援学校行きバスは、坂井・丸岡線(あわら市含む)が県運行。県営通学バスの運行区域外の三国・春江線は市が運行している。三国・春江線のルート追加、もしくは補助金などを県に要望していく必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	利用する児童の増により、車両数を増便して対応している。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明	特別支援学校児童、生徒の通学支援であり保護者の負担軽減も図れることから現状維持により継続します。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	001	心身障害者福祉事業							
中事業	21	重度身体障害者住宅改造事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	身体障害者福祉法・同法施行規則			
根拠例規	有	坂井市重度身体障害者住宅改造費助成事業要綱			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	重度の障がい者に対し、日常生活を容易にするための住宅改造に要する費用の一部を助成することにより、住み慣れた住環境のバリアフリーを促進し、生活の質の向上を図ります。
実施方法手段	重度の視覚障がい者または肢体不自由者に対し、玄関、台所、便所、洗面所、浴室等を障害の特性に応じて改造した場合に費用の一部を助成する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,866	2,000	2,000
	人件費	738	1,706	703
	総事業費	2,604	3,706	2,703
人員	正職員	0.11 人	0.24 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.11 人	0.24 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金	932	1,000	1,000
	その他特定財源			
	一般財源	1,672	2,706	1,703

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	助成件数	件	目標	4	4	4	4
			実績	3	3	3	3
			達成率(%)	75.00	75.00	75.00	75.00
指標の説明							
活動	助成に関する相談対応件数	件	目標	4	4	4	4
			実績	6	3	3	3
			達成率(%)	150.00	75.00	75.00	75.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		相談はあっても、要件に該当しないため助成に結びつかない事例もあり、今後も適切な相談支援と周知を行うことが望まれます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成38年度	
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	001	心身障害者福祉事業							
中事業	36	軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	補助金事業(事業補助)	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業実施要綱		
関連計画・マニフェスト	有		坂井市福祉保健総合計画		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児を対象として、健全な発達への支援と福祉の増進を図ることを目的として、補聴器の購入の一部を助成します。
実方手法手段	身体障害者手帳の交付対象とならないとはならないが、補聴器の装着が必要と医師の診断を受けた児童が補聴器を購入する際に購入費の一部を助成する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	0		
	人件費	201		
	総事業費	201	0	0
人員	正職員	0.03 人	人	人
	臨時職員	0.00 人	人	人
	人員計	0.03 人	0.00 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	201	0	0

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	支給件数	件	目標	4	4		
			実績	0	4		
			達成率(%)	0.00	100.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		平成27年度支給した件数は、4件であるが実人数は2人である。平成28年度は申請がなかった。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	平成27年度からの事業であり、さらに周知を行う必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成27年度からの新規事業であり、平成27年度は補装具費の中で支出していたが、平成28年度から、軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業とした。(県1/3、市1/3、自己負担1/3)	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明	平成27年度に支給した件数は、4件であるが実人数は2人である。平成28年度は申請がなかったものの、事業は継続し、中等度の難聴児の支援を継続する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	051	障害者等手当支給事業							
中事業	01	特別障害者手当等支給事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	特別児童扶養手当等の支給に関する法律			
根拠例規	有	坂井市特別障害者手当等事務取扱細則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	重度の障がい有するため日常生活において常時特別の介護を必要とする在宅の障害児(者)に手当を支給することにより、経済的な負担の軽減を図ります。
実方手法等段	<ul style="list-style-type: none"> 「特別障害者手当」「障害児福祉手当」「経過的福祉手当」の支給について、毎年8月ごろに所得状況届等を郵送する。 申請に基づき審査、決定をし、2月、5月、8月、11月に手当を支給する。

3.事業のコスト

(単位:千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	37,764	37,154	34,908
	人件費	2,148	2,204	2,319
	総事業費	39,912	39,358	37,227
人員	正職員	0.32 人	0.31 人	0.33 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.32 人	0.31 人	0.33 人
財源内訳	国県支出金	28,245	27,889	26,181
	その他特定財源			
	一般財源	11,667	11,469	11,046

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年	
指標	受給者数	人	目標	164	163	158	162	
			実績	157	164	163	158	
			達成率(%)	95.73	100.61	103.16	97.53	
成果	指標の説明							
		前年度2月~当該年度1月までの受給者数						
指標	新規認定者数	人	目標	27	24	21	24	
			実績	19	27	24	21	
			達成率(%)	70.37	112.50	114.29	87.50	
活動	指標の説明							
		前年度2月~当該年度1月まで新規認定者数						
指標	再認定者数	人	目標	26	33	39	38	
			実績	32	26	33	39	
			達成率(%)	123.08	78.79	84.62	102.63	
活動	指標の説明							
		前年度2月~当該年度1月までの再認定者数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
	指標の説明							
指標に基づく評価		受給者数、新規認定者数の減少から、制度の周知が必要である						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	受給者数、新規認定者数の減少から、制度の周知が必要である	
これまでの見直しや改善等の実績	広報で周知している	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大	事業	051	障害者等手当支給事業						
中	事業	06	重症心身障害児(者)福祉手当支給事業						

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		福井県・坂井重症心身障害児(者)福祉手当要綱ほか		
関連計画・マニフェスト	有		坂井市福祉保健総合計画		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	公的年金、特別児童扶養手当、特別障害者手当、障害児福祉手当を受給できない重度心身障がい児(者)に手当を支給することで、経済的な負担の軽減を図ります。
実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> 重症心身障害児(者)福祉手当の支給について、毎年9月ごろに所得状況届等を郵送する。 申請に基づき審査、決定をし、4月、10月に手当を支給する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	921	906	1,023
	人件費	1,074	1,066	1,124
	総事業費	1,995	1,972	2,147
人員	正職員	0.16 人	0.15 人	0.16 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.16 人	0.15 人	0.16 人
財源内訳	国県支出金	457	453	511
	その他特定財源			
	一般財源	1,538	1,519	1,636

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	受給者数	人	目標	30	32	32	30
			実績	30	28	30	30
			達成率(%)	100.00	87.50	93.75	100.00
指標の説明		当該年度の受給者数					
活動	新規認定者数	人	目標	2	2	2	2
			実績	2	3	1	2
			達成率(%)	100.00	150.00	50.00	100.00
指標の説明		当該年度の新規認定者数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		概ね目標を達成した					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	051	障害者等手当支給事業							
中事業	11	特別児童扶養手当支給事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	法定受託事務		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	特別児童扶養手当等の支給に関する法律			
根拠例規	有	坂井市特別障害者手当等事務取扱細則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	重度の障がいをもつ児童(20歳未満)を監護する父、母、もしくは父母に代わって児童を養育している者に手当を支給することにより、経済的な負担の軽減を図ります。
実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> 特別児童扶養手当の支給について、毎年8月ごろに所得状況届等を郵送する。 事業の周知や申請受付については市で実施し、県に進達し支給決定は県で行う。 支給決定者に対し、4月、8月、11月に支給される。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	298	296	240
	人件費	1,745	1,991	2,038
	総事業費	2,043	2,287	2,278
人員	正職員	0.26 人	0.28 人	0.29 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.26 人	0.28 人	0.29 人
財源内訳	国県支出金	298	296	240
	その他特定財源			
	一般財源	1,745	1,991	2,038

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	受給者数	人	目標	183	181	178	161
			実績	178	183	181	178
			達成率(%)	97.27	101.10	101.69	110.56
成果	指標の説明						
当該年度の受給者数							
指標	新規認定者数	人	目標	20	20	20	20
			実績	29	19	17	19
			達成率(%)	145.00	95.00	85.00	95.00
成果	指標の説明						
当該年度の新規認定者数							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標に基づく評価	概ね目標を達成した						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害児(者)福祉費
大事業	101	障害者福祉施設管理運営事業				
中事業	06	障害者福祉施設管理運営事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	指定管理事業	
根拠法令	有	障害者基本法、障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井市障害者交流センター条例			
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井障害者交流センターは、障がい児者に関する福祉活動、各種相談や地域社会との交流促進のための施設として設置しています。
実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> 坂井障害者交流センターの管理運営について、地元の障害福祉の事業所であるNPO法人スマイルネットワークさかいに委託して実施する。 市は、本施設が適正かつ円滑に管理運営されるよう、適切なモニタリング等実施する。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	6,959	14,217	16,209
	人件費	671	2,062	2,054
	総事業費	7,630	16,279	18,263
人員	正職員	0.10 人	0.29 人	0.29 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.10 人	0.29 人	0.29 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	7,630	16,279	18,263

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	利用者数(延)	人	目標	4,580	3,900	4,644	4,250
			実績	4,788	4,336	4,850	5,125
			達成率(%)	104.54	111.18	104.44	120.59
指標の説明		坂井障害者交流センターを利用した延人数					
活動	監理委託料	円	目標	4,042	4,042	4,042	3,930
			実績	4,042	4,042	4,042	3,930
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		利用者数の目標指定管理者事業計画書による数値であるが、見込んだ人数以上の利用者であった。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	障がい児者に関する福祉活動、各種相談や地域社会との交流促進のための施設として設置しているが、本来の目的使用よりも、現在では自主事業(児童福祉法による障害児の通所福祉サービス)の利用がほとんどである。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成27年度に坂井障害者交流センターの耐震診断を実施した。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善(見直し)	中長期的な方向性		廃止
目標年度	平成29年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	坂井障害者交流センターの今後の利活用について協議をし、現在の指定管理者であるNPO法人スマイルネットワークさかいへの譲渡について検討する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	151	重度障害者(児)医療費助成事業							
中事業	01	重度障害者(児)医療費助成事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市重度障害者(児)医療費の助成に関する条例・同条例施行規則		
関連計画・マニュアル	有		坂井市福祉保健総合計画		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	重度の障がい者(児)の医療費を助成することにより、その健康の保持と経済的負担を軽減し、地域での生活の安定を図ります。
実施手段	<ul style="list-style-type: none"> 対象者は、身体障害者手帳1～3級、療育手帳A1、A2、B1、B2の一部、精神障害者保健福祉手帳1、2級の所持者。 申請があった場合、審査、決定をして、「受給者証」を発行する。 毎年7月に所得の見直しを行い、対象者には、8/1～7/31までの受給者証を郵送する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	360,790	346,786	358,472
	人件費	7,451	9,171	9,066
	総事業費	368,241	355,957	367,538
人員	正職員	1.11 人	1.29 人	1.29 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.11 人	1.29 人	1.29 人
財源内訳	国県支出金	179,583	172,639	179,485
	その他特定財源	1,623		
	一般財源	187,035	183,318	188,053

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	年度末における受給者数(身体・知的)	人	目標				
			実績	2,687	2,717	2,682	2,650
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
受給資格のある人の数(総合福祉システムの集計表より)							
指標	年度末における受給者数(精神)	人	目標				
			実績	337	315	293	282
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
受給資格のある人の数(総合福祉システムの集計表より)							
指標	医療費助成額	千円	目標				
			実績	350,173	336,169	348,093	339,021
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標に基づく評価							
精神障害受給者数および助成額が増加傾向にある。							

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	事務の簡素化、効率化に努める必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	システムの改修等を行い事務の簡素化、効率化を図った。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	201	指定難病生活支援事業							
中事業	01	指定難病特別見舞金支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市特定疾患特別助成金支給要領		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	長期にわたり治療を必要とする方への経済的負担軽減を目的とし助成金を給付します。
実施手続等	厚労省が定める指定難病の対象患者で、下記要件に該当する方に、3万円(20才未満は2万円)を給付する。 ・坂井市内に1年以上住所を有し、指定難病の治療のため6カ月以上の入院治療を受けた方 ・市民税非課税世帯又は均等割世帯に属している方(20歳未満は所得制限なし)

3.事業のコスト

(単位:千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	90	2,820	3,000
	人件費	470	2,844	1,546
	総事業費	560	5,664	4,546
人員	正職員	0.07 人	0.40 人	0.22 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.07 人	0.40 人	0.22 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	560	5,664	4,546

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	受給者数(助成金)	人	目標	10	120	104	101
			実績	3	121	119	104
			達成率(%)	30.00	100.83	114.42	102.97
指標の説明		助成金支払決定数					
活動	周知回数	回	目標	1	1	1	1
			実績	2	1	1	1
			達成率(%)	200.00	100.00	100.00	100.00
指標の説明		広報や関係機関を通じた対象者への周知回数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		対象者への周知回数を増やしたことにより制度改正周知がなされ、申請のあった方に対して却下認定をすることはなかった。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	見舞金の対象者としている方の多くは重度障害者医療費受給者証や子ども医療費受給者証を所持しており、医療費については実質無料である。そのためこの事業により見舞金を支給するのは妥当でないとする。	
これまでの見直しや改善等の実績	難病法が施行され、指定難病の医療費の助成制度が確立されたことに伴い、近隣市町では見舞金を廃止したところもある。それに伴って、坂井市でも平成27年度に助成内容の検討を行い、平成28年度より長期(半年以上)の入院患者のみに対象者を縮小した。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		縮小	中長期的な方向性	
目標年度	平成30年度		目標年度	
方向性の説明	支給対象者を見直し縮小する、もしくは廃止する方向で検討する。			

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	251	自立支援給付事業							
中事業	01	介護給付費支給事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、自宅、施設、病院等での日常生活に必要な入浴、排せつ、食事の介護等、生活全般にわたり介護サービスを提供することで日常生活の安定を図ります。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 利用希望者の申請に基づき必要な調査を実施し、障害区分認定審査会に諮り、障害区分の認定を受ける。 審査会の決定をもとに支給決定をする。 利用者負担上限額を決定し、受給者証を交付する。 国保連を通じての請求内容を審査し支払う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	870,496	825,855	811,573
	人件費	7,049	7,038	6,677
	総事業費	877,545	832,893	818,250
人員	正職員	1.05 人	0.99 人	0.95 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.05 人	0.99 人	0.95 人
財源内訳	国庫支出金	652,836	632,285	616,784
	その他特定財源			
	一般財源	224,709	200,608	201,466

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	介護給付費 受給者数(3月末)	人	目標	515	502	501	497
			実績	475	453	459	513
			達成率(%)	92.23	90.24	91.62	103.22
指標の説明		介護給付を受給決定している実人数(年度末)					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		概ね目標を達成した					

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	不正請求等、不適正ないし不正な事例に対し、介護給付費の適正化に努める。	
これまでの見直しや改善等の実績	障害者総合支援協議会の中で、適正給付について協議をしている。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		拡充	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	平成30年度の障害者総合支援法の改正により、新しい制度が創設される予定である。平成29年度中に第5期障害福祉計画策定委員会を立ち上げ、サービス見込量および平成32年度までの取り組みを検討する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	251	自立支援給付事業							
中事業	11	訓練等給付費支給事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスとして、障がいのある方の就労支援や、身体及び社会生活の能力の向上を目的として自立した生活に必要な知識や技術を身に着ける訓練を提供し、自立の促進を図ります。
実施手法等	<ul style="list-style-type: none"> 利用希望者の申請に基づき、必要な調査、審査を行い支給決定をする。 利用者負担上限額を決定し、受給者証を交付する。 国保連を通じての請求内容を審査し支払う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	691,523	654,222	605,980
	人件費	6,444	6,896	6,185
	総事業費	697,967	661,118	612,165
人員	正職員	0.96 人	0.97 人	0.88 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.96 人	0.97 人	0.88 人
財源内訳	国県支出金	518,642	502,741	463,173
	その他特定財源			
	一般財源	179,325	158,377	148,992

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	訓練等給付費 受給者数(3月末)	人	目標	466	426	385	368
			実績	460	433	416	309
			達成率(%)	98.71	101.64	108.05	83.97
指標の説明		訓練等給付を受給決定している実人数(年度末)					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	概ね達成した						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	不正請求等、不適正ないし不正な事例に対し、訓練等給付費の適正化に努める。	
これまでの見直しや改善等の実績	障害者総合支援協議会の中で、適正給付について協議をしている。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		拡充	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成30年度		目標年度		
方向性の説明	平成30年度の障害者総合支援法の改正により、新しい制度が創設される予定である。また、平成29年度中に第5期障害福祉計画策定委員会を立ち上げ、サービス見込量および平成32年度までの取り組みを検討する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害児(者)福祉費
大事業	251	自立支援給付事業				
中事業	16	自立支援医療費支給事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井市障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	障害者等の心身の障害の状態の軽減を図るために必要な医療を行うことによって、自立した日常生活又は社会生活を営むことができることを目的とします。
実方手法等	育成医療、更生医療、精神通院医療、療養介護医療で構成されている。更生医療、育成医療、療養介護医療について支給認定及び費用負担を行う。精神通院医療については申請受理、進達を行う。 ①障害者等から市へ自立支援医療の支給の申請②福井県総合福祉相談所へ判定依頼。③障害者等の世帯の所得の状況、治療状況を勘案して支給認定を行う④支給認定の有効期間、指定自立支援医療の名称、及び負担上限月額等を記載した受給者証を交付

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	38,385	38,611	28,787
	人件費	7,787	10,664	10,050
	総事業費	46,172	49,275	38,837
人員	正職員	1.16 人	1.50 人	1.43 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.16 人	1.50 人	1.43 人
財源内訳	国県支出金	33,609	29,945	28,787
	その他特定財源			
	一般財源	12,563	19,330	10,050

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	育成医療の支給認定者数	人	目標	25	25	50	50
			実績	25	27	24	50
			達成率(%)	100.00	108.00	48.00	100.00
指標の説明							
指標	更生医療の支給認定者数	人	目標	60	60	60	60
			実績	63	58	61	61
			達成率(%)	105.00	96.67	101.67	101.67
指標の説明							
指標	療養介護医療の支給認定者数	人	目標	10	9	8	8
			実績	10	9	9	8
			達成率(%)	100.00	100.00	112.50	100.00
指標の説明							
指標	精神通院医療の申請件数	件	目標				
			実績	1,453	1,374	1,384	1,150
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	精神通院医療については一月あたり平均100件、週あたり平均25件を超える申請受付状態です。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題		
	精神通院医療の支給認定は県にて行うが、受診者の窓口自己負担額に関する調書は市で作成し進達している。申請の多い時には40件/週を超え、年々件数が伸びている。		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明	事務事業はこのまま継続するが、事務の簡素化、効率化について検討していく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	251	自立支援給付事業							
中事業	21	補装具費支給事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井市障害者総合支援法施行規則及び施行細則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	障がいによって失われた部位や障がいのある部位の機能を補うための装具(厚生労働大臣が定めるもの)を給付又は修理することにより、職業その他日常生活の能率の向上を図ります。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 対象者は、身体障がい者、指定難病の方 補装具費支給申請後、事業者に見積依頼をする。 更生相談所等の意見をもとに補装具費の支給決定を行う。 利用者が補装具製作(販売)事業者と契約し、補装具の購入または修理をする。 利用者は自己負担分を事業者を支払い、残りは市と事業者が直接やり取りする。

3.事業のコスト

(単位:千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	16,973	18,480	14,842
	人件費	4,028	3,768	3,444
	総事業費	21,001	22,248	18,286
人員	正職員	0.60 人	0.53 人	0.49 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.60 人	0.53 人	0.49 人
財源内訳	国県支出金	13,743	14,506	12,181
	その他特定財源			
	一般財源	7,258	7,742	6,105

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	支給件数(購入+修理)	件	目標				
			実績	187	204	195	214
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		補装具費を支給した件数(県実績報告より)					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		特段目標値は定めていないが、障害者総合支援法に基づく事業として、申請に基づいて適正に支給決定している。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害児(者)福祉費
大事業	251	自立支援給付事業				
中事業	26	高額障害福祉サービス費支給事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	同一世帯に障害福祉サービスを利用する方が複数いる場合や法令根拠の違う複数のサービスを利用している場合で、利用者負担上限額を超えた分を支給することで、世帯における利用者負担の軽減を図ります。
実手法手段	<ul style="list-style-type: none"> 市で高額障害福祉サービス費を算定後、対象者に通知する。 申請があった場合、審査し支給決定をする。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	61	89	89
	人件費	806	569	633
	総事業費	867	658	722
人員	正職員	0.12 人	0.08 人	0.09 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.12 人	0.08 人	0.09 人
財源内訳	国県支出金	65	63	45
	その他特定財源			
	一般財源	802	595	677

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	支給件数(延)	件	目標	30	30	30	20
			実績	26	32	41	31
		達成率(%)	86.67	106.67	136.67	155.00	
指標の説明		高額障害福祉サービス費を支給した件数					
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
		達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	
指標の説明							
指標に基づく評価	高額障害福祉サービス費の支給対象者の方に適切に支給できた。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業							
中事業	01	相談支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井市相談支援事業実施要領			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	障がい者、その保護者、介護者から、福祉に関する様々な問題についての相談に対応し、必要な情報提供、障害福祉サービスの利用支援等を行うほか、権利擁護のために必要な援助を行うことにより、地域での安心・安定した日常生活を支援します。
実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の支援に実績がある2つの法人に委託して実施する。(あわら市と共同設置) 経験のある専門の相談員を配置し、電話や訪問等で相談に対応する。 相談に対し、必要に応じて各関係機関と連携して対応する。 適正な相談事業運営を図るために、適宜、報告を求めたり、実地検査等を実施する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	15,954	15,948	15,923
	人件費	3,558	4,621	4,217
	総事業費	19,512	20,569	20,140
人員	正職員	0.53 人	0.65 人	0.60 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.53 人	0.65 人	0.60 人
財源内訳	国県支出金	4,145	5,828	6,017
	その他特定財源			
	一般財源	15,367	14,741	14,123

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	委託相談支援事業所が対応した相談者数	人	目標	300	300	250	250
			実績	396	393	340	272
			達成率(%)	132.00	131.00	136.00	108.80
成果	指標の説明 相談支援を利用した実人数						
指標	委託相談支援事業所が携わった個別支援会議の回数	回	目標	200	200	150	150
			実績	238	192	216	160
			達成率(%)	119.00	96.00	144.00	106.67
成果	指標の説明 個別支援会議に携わった回数(主催と参加)						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標に基づく評価	委託相談支援事業所が対応している相談者もその支援のための支援会議も増加傾向にある。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	<p>有効性に課題</p> <p>相談支援事業は、専門的な見地から障がいのある人とその家族からの相談に応じて、電話や訪問により必要な助言等を行っている。件数が増加していること、特に精神障害が増えたことで、対応時間も長く、内容も複雑化している。</p>
これまでの見直しや改善等の実績	委託相談支援事業所と適時連絡会を設け、情報交換、課題の共有をしている。

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		改善(見直し)
目標年度	平成29年度		目標年度	平成32年度	
方向性の説明	事務事業はこのまま継続していくが、利用者数の増加、相談内容の多様化複雑化に伴い、今度、相談体制の在り方を検討していく必要がある。第5期障害福祉計画(H30~H32)を策定予定のためその中で検討していく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業							
中事業	06	意思疎通支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井市コミュニケーション支援事業実施要領			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	意思疎通に障がいのある人を支援するために、意思疎通の支援者の派遣や養成等を行うことにより、意思疎通の円滑化を図ります。
実方手法手等段	<ul style="list-style-type: none"> 公的機関や医療機関等への外出先で意思疎通の支障があるときに利用者からの申請に基づき、手話通訳者または要約筆記者を派遣する。 手話奉仕員の養成のために養成講座を開催する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,096	1,518	1,696
	人件費	5,102	2,644	3,186
	総事業費	7,198	4,162	4,882
人員	正職員	0.76 人	0.03 人	0.13 人
	臨時職員	0.00 人	1.00 人	0.90 人
	人員計	0.76 人	1.03 人	1.03 人
財源内訳	国県支出金	1,019	1,442	1,553
	その他特定財源			
	一般財源	6,179	2,720	3,329

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	利用者数(実)	人	目標	18	18	17	16
			実績	19	13	17	18
			達成率(%)	105.56	72.22	100.00	112.50
成果	指標の説明 手話通訳者等派遣事業を利用した実人数						
指標	利用件数(延)	件	目標	135	130	115	110
			実績	146	107	122	130
			達成率(%)	108.15	82.31	106.09	118.18
成果	指標の説明 手話通訳者等派遣事業を利用した件数						
指標	手話奉仕員等の研修会	回	目標	2	2	1	0
			実績	2	2	1	1
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	0.00
活動	指標の説明						
指標	養成講座の修了者数	人	目標	30	30	10	15
			実績	19	22	7	13
			達成率(%)	63.33	73.33	70.00	86.67
成果	指標の説明						
指標に基づく評価	利用者数(実)、利用件数(延々)の指標の目標値は、第3期障害福祉計画(H24~26)、第4期障害福祉計画(H27~H29)で設定したサービスの見込量である。見込んだ利用者数、件数の想定範囲内で利用されている。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	手話奉仕員の養成講座を毎年開催し成果を上げているが、今後さらに参加者や修了者が増加するように努める必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善(見直し)	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明	事業内容はそのまま継続するが、手話奉仕員の養成講座の参加者や修了者がさらに増加するように、PRに努め参加しやすい講座になるよう検討する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業				
中事業	11	日常生活用具給付等事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法、障害者総合支援法施行令及び規則			
根拠例規	有	坂井市障害者自立支援法施行規則ほか			
関連計画・マニュアル	無	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	障がいのある人の日常生活がより円滑に行われるための用具を給付することにより、日常生活の能率の向上を図ります。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 対象者は身体・知的障がい者、指定難病の方。 日常生活用具支給申請後、事業所に見積依頼し、審査、給付決定を行う。 利用者が事業者と契約し、日常生活用具の購入をする。 利用者は自己負担分を事業者を支払い、残りは市と事業者が直接やり取りする。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	19,499	21,036	18,994
	人件費	4,498	4,123	4,709
	総事業費	23,997	25,159	23,703
人員	正職員	0.67 人	0.58 人	0.67 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.67 人	0.58 人	0.67 人
財源内訳	国県支出金	9,500	7,687	7,178
	その他特定財源			
	一般財源	14,497	17,472	16,525

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	支給件数	件	目標				
			実績	1,783	1,802	1,737	1,663
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		県実績報告より					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		特段目標値は定めていないが、坂井市重度障害者等日常生活用具給付等実施要綱に基づき、適正に支給決定している。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない
	事業はこのまま継続していくが、日常生活用具の対象となる用具の種類に関しては、各種団体からの要望や他市町の状況に応じて追加を検討していく。
これまでの見直しや改善等の実績	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業							
中事業	16	移動支援事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井市地域生活支援事業実施規則ほか			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	単独で外出することが困難な障がいのある人の外出するための支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を図ります。
実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> 対象者は1人での外出が困難な障がいのある人。 市は、適切なサービスを提供できる事業所を指定して事業実施する。 移動支援利用申請があった場合、審査、支給決定を行う。 利用者は自己負担分を事業者を支払い、残りは市と事業者が直接やり取りする。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	8,145	8,426	7,219
	人件費	1,074	924	1,406
	総事業費	9,219	9,350	8,625
人員	正職員	0.16 人	0.13 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.16 人	0.13 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金	3,948	3,079	2,729
	その他特定財源			
	一般財源	5,271	6,271	5,896

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	利用実人数	人	目標	52	50	37	34
			実績	66	53	47	50
			達成率(%)	126.92	106.00	127.03	147.06
指標の説明		移動支援を利用した実人数					
指標	延べ利用時間	時間	目標	2,900	2,800	3,815	3,705
			実績	2,902	2,903	2,554	2,742
			達成率(%)	100.07	103.68	66.95	74.01
指標の説明		移動支援を利用した延長時間					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	実利用者数の指標の目標値は、第3期障害福祉計画(H24~26)、第4期障害福祉計画(H27~H29)で設定したサービスの見込量である。見込んだ利用者数、時間数の想定範囲内で利用されている。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業				
中事業	21	地域活動支援センター事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井市地域生活支援事業規則ほか			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	地域活動支援センターは、障がいのある人が気軽に通える場であり、地域の実情に合わせて、創作的活動や生産活動の機会の提供や社会との交流促進等を目的として、地域活動支援センター「Ⅰ型」、「Ⅱ型」、「Ⅲ型」の類型を設けて事業を委託して実施します。
実方手法等	<ul style="list-style-type: none"> Ⅰ型は社会福祉法人悠々福祉会にあわら市と共同設置。 Ⅲ型は、NPO法人 障害者自立援助センターしいのみに委託。 利用料は無料。 適正な事業運営の確保を図るために、適宜報告や検査等実施する。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	15,054	15,053	15,046
	人件費	1,611	924	1,335
	総事業費	16,665	15,977	16,381
人員	正職員	0.24 人	0.13 人	0.19 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.24 人	0.13 人	0.19 人
財源内訳	国県支出金	2,804	5,501	5,686
	その他特定財源			
	一般財源	13,861	10,476	10,695

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	利用者数(延)	目標					
		実績		3,996	3,464	3,491	3,172
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		地域活動支援センターを利用した人数(年間)					
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標		目標					
		実績					
		達成率(%)		0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	利用者数は増加傾向にある。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	地域活動支援センターは、自宅以外に行き場のない障がい者の居場所を確保するために必要な事業であるが、丸岡町に1か所、あわら市に1か所であるため、地域的に偏りがあるのが現状である。	
これまでの見直しや改善等の実績	利活用しやすい地域活動支援センターをめざして、委託事業所と適時協議している。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業							
中事業	26	訪問入浴サービス事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井市地域生活支援事業実施規則ほか			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	重度の障がいのある人の地域での生活を支援するため、身体の清潔の保持及び心身機能の維持等を図り、家庭における介護の軽減を図ります。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 対象者は重度身体障がい者(児)で日常生活動作に全介助を要する方。 市は、適切なサービスを提供できる事業所を指定して事業実施する。 訪問入浴サービス事業利用申請があった場合、審査、支給決定を行う。 利用者は利用料を事業者支払い、残りは市と事業者が直接やり取りする。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	8,838	11,364	10,542
	人件費	1,141	569	1,054
	総事業費	9,979	11,933	11,596
人員	正職員	0.17 人	0.08 人	0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.17 人	0.08 人	0.15 人
財源内訳	国県支出金	4,305	4,153	3,983
	その他特定財源			
	一般財源	5,674	7,780	7,613

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	実利用者数	人	目標	14	13	12	11
			実績	10	11	10	9
			達成率(%)	71.43	84.62	83.33	81.82
指標の説明		訪問入浴サービスを利用した実人数					
指標	延べ利用回数	回	目標				
			実績	709	912	848	615
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		訪問入浴サービスを利用した延回数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	実利用者数の指標の目標値は、第3期障害福祉計画(H24~H26)、第4期障害福祉計画(H27~H29)で設定したサービスの見込量である。見込んだ利用者数の範囲内で利用されている。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	市内で訪問入浴サービスを提供している事業所は1つしかないため、今後のニーズにどこまで対応できるかが課題である。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業				
中事業	31	更生訓練費給付事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井市地域生活支援事業実施規則ほか			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	障がいのある人の就労や生活訓練がより効果的に行われるよう訓練や通所に係る経費の一部を支給することで、社会参加を支援します。
実手法手段	<ul style="list-style-type: none"> 対象者は、自立訓練または就労移行支援事業を利用している人で市町村税非課税の世帯。 更生訓練費支給申請があった場合、審査、支給決定を行う。 訓練に必要な参考書や通所するのに必要な電車、バス代を助成する。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	216	182	70
	人件費	738	355	843
	総事業費	954	537	913
人員	正職員	0.11 人	0.05 人	0.12 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.11 人	0.05 人	0.12 人
財源内訳	国県支出金		66	27
	その他特定財源			
	一般財源	954	471	886

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	支給決定者数	人	目標	5	5	14	12
			実績	6	6	4	3
			達成率(%)	120.00	120.00	28.57	25.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	実利用者数の指標の目標値は、第3期障害福祉計画(H24~26)、第4期障害福祉計画(H27~H29)で設定したサービスの見込量である。見込んだ利用者数想定範囲内で利用されている。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	平成27年度までは、地域生活支援事業のメニューの1つで補助対象事業であったが、平成28年度から補助対象外となった。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成27年度までは、地域生活支援事業のメニューの1つで補助対象事業であった。平成28年度から補助対象外となったことで、事業の継続について検討した。他市町の状況、利用者のニーズ調査等により継続とした。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業				
中事業	36	日中一時支援事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井市地域生活支援事業実施規則ほか			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	障がいのある人の日中における活動の場を確保し、またその家族の就労支援及び介護の一時的な軽減を図ります。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 対象者は障がいのある人で日中監護する人がいないため、一時的に見守りが必要な人。 市は、適切なサービスを提供できる事業所を指定して事業実施する。 日中一時支援利用申請があった場合、審査、支給決定を行う。 利用者は自己負担分を事業者を支払い、残りは市と事業者が直接やり取りする。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	12,241	13,293	13,262
	人件費	1,544	924	1,406
	総事業費	13,785	14,217	14,668
人員	正職員	0.23 人	0.13 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.23 人	0.13 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金	5,964	4,857	5,148
	その他特定財源			
	一般財源	7,821	9,360	9,520

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	日中一時支援利用者数	人	目標	60.0	60.0	68.0	75.0
			実績	54.0	53.0	62.0	53.0
			達成率(%)	90.00	88.33	91.18	70.67
指標の説明		障害福祉計画で見込んだ日中一時支援事業の利用者の実数					
指標	日中一時支援提供事業者数	か所	目標	20.0	20.0	17.0	19.0
			実績	20.0	19.0	20.0	19.0
			達成率(%)	100.00	95.00	117.65	100.00
指標の説明		障害福祉計画で見込んだ日中一時支援事業の指定事業者数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	実利用者数の指標の目標値は、第3期障害福祉計画(H24~H26)、第4期障害福祉計画(H27~H29)で設定したサービスの見込量である。見込んだ利用者数の範囲内で利用されている。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業							
中事業	46	スポーツ・レクレーション開催事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無		坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	障がい者スポーツ大会やユニバーサルスポーツの普及を通じて、障がいのある人の健康増進、社会参加の促進を図ります。
実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者障害者スポーツ大会、ゲートボール大会、グランドゴルフ大会の開催について、坂井市身体障害者福祉協会に委託して実施する。 ユニバーサルスポーツ大会の開催について、春江町総合型地域クラブに委託して実施する。 全国大会、県大会への出場者を奨励する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	305	303	215
	人件費	806	213	211
	総事業費	1,111	516	426
人員	正職員	0.12 人	0.03 人	0.03 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.12 人	0.03 人	0.03 人
財源内訳	国県支出金	97	111	82
	その他特定財源			
	一般財源	1,014	405	344

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	坂井市障害者スポーツ大会参加者数	人	目標	70			
			実績	62	60	60	100
			達成率(%)	88.57	0.00	0.00	0.00
指標の説明		坂井市身体障害者福祉協会予算書および実績より					
指標	全国大会・県大会出場件数	件	目標				
			実績	9	1	3	3
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		全国・県大会に出場した団体数と個人数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		平成27年度と比較して参加者数が若干増加しており、障害のある人の心身の健康づくりと生きがいつくりにつながっている。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		拡充
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	全国障がい者スポーツ大会が福井で開催されるため、出場者の増加が予想される。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	02 障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業				
中事業	51	自動車改造費等助成事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	補助金事業(事業補助)	
根拠法令	有	身体障害者法、障害者総合支援法、道路交通法			
根拠例規	有	坂井市障害者自動車改造費等助成事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	障がいのある人がその障害特性に応じて自動車を改造するための費用を助成したり、自動車免許をの取得に要する費用の一部を助成することで、就業等社会参加の促進を図ります。
実施手法等	<ul style="list-style-type: none"> 自動車改造費助成の対象は、身障1、2級のうち体幹と肢体に障がい有する人。 自動車操作訓練費助成事業の対象者は、身障1～4級の人。 申請に基づき、審査決定し、10万円を限度に助成する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	800	600	200
	人件費	806	1,706	703
	総事業費	1,606	2,306	903
人員	正職員	0.12 人	0.24 人	0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.12 人	0.24 人	0.10 人
財源内訳	国県支出金		219	76
	その他特定財源			
	一般財源	1,606	2,087	827

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	自動車改造助成件数	件	目標	6	6	6	6
			実績	6	2	2	7
			達成率(%)	100.00	33.33	33.33	116.67
指標の説明							
指標	自動車操作訓練費助成件数	件	目標	3	3	3	3
			実績	2	4	0	1
			達成率(%)	66.67	133.33	0.00	33.33
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価							

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	平成27年度までは、地域生活支援事業のメニューの1つで補助対象事業であった。平成28年度から補助対象外となった。	
これまでの見直しや改善等の実績	平成28年度から補助対象外となったことで、事業の継続について検討した。他市町の状況、利用者のニーズ調査等により継続とした。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善(見直し)	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明	対象者や助成の要件等について、検討する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大	事業	301	地域生活支援事業						
中	事業	61	就労促進支援事業						

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(任意的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井市障がい者雇用ネットワークセンター設置要綱			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	企業における障がい者の雇用への理解、就労機会の創出と拡大を図るとともに、日中の居場所や余暇活動を提供しながら、障がいのある人が一般就労をめざすための支援を目的とします。
実手法手段	NPO法人坂井市障害者プラン住民会議に委託して実施する。 ・市内外の企業を直接訪問し、障がい者の雇用についての理解促進、情報収集等を行う。 ・一般就労を希望する障がい者等を対象とした企業見学会や就労セミナーを開催。 ・センター内にフリースペースを設置し、余暇を自由に過ごすことができる居場所を提供し、就労等に関する相談に応じる。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	13,924	13,553	13,403
	人件費	1,477	853	1,406
	総事業費	15,401	14,406	14,809
人員	正職員	0.22 人	0.12 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.22 人	0.12 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金	6,783	4,952	5,064
	その他特定財源			
	一般財源	8,618	9,454	9,745

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	在宅や施設から一般就労した人数	人	目標	20	20	12	15
			実績	19	26	32	25
			達成率(%)	95.00	130.00	266.67	166.67
指標の説明		支援をうけて一般就労した障がい者の数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価							

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	一般就労をめざす障がい者の支援を通して一定の成果をあげてきたが、就職したもののなかなか継続が難しいことが課題になっている。	
これまでの見直しや改善等の実績	委託先であるNPO坂井市住民プラン推進会議と定期的に情報交換、課題の共有をしたり、総合支援協議会の就労支援部会と協議した。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		改善(見直し)	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成30年度	
方向性の説明	障がい者の一般就労を支援する事業は継続していくが、委託先、委託内容を見直し、就職した後の定着への支援を強化していく。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業							
中事業	71	成年後見人利用促進事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	成年後見制度における坂井市長申立てに係る取扱要綱			
関連計画・マニュアル	無	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	判断能力が不十分で身寄りのない知的障がい及び精神障がい者等で当事者による申立てが期待できない状態にある者について、市長が後見・保佐・補助の開始の審判の請求を家庭裁判所に行うことにより、対象者の権利擁護を図ります。
実施手段等	判断能力が不十分な障がいのある人が身寄りがないことや費用負担が困難なために成年後見制度が利用できない場合、本人に代わり市が家庭裁判所に申し立て手続きを行うとともに、後見人に対する報酬についても助成を行います。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	6	5	0
	人件費	1,074	142	141
	総事業費	1,080	147	141
人員	正職員	0.16 人	0.02 人	0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.16 人	0.02 人	0.02 人
財源内訳	国県支出金	3		
	その他特定財源			
	一般財源	1,077	147	141

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	利用人数	人	目標	1	1	1	1
			実績	1	0	0	1
			達成率(%)	100.00	0.00	0.00	100.00
指標の説明		成年後見人制度を利用した身寄りのない障がい者の数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		身寄りがなく、成年後見人制度を必要とする障がいのある人に対し、適切に制度を利用することができた。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	障害者に対する成年後見人利用は障害福祉が担当し、高齢者に対する成年後見人制度は、高齢福祉で担当しているという現状である。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	301	地域生活支援事業							
中事業	76	障害者給付認定審査会事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法、地方自治法			
根拠例規	有	坂井地区障害給付認定審査会共同設置規約			
関連計画・マニフェスト	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	障害者総合支援法の規定に基づき、介護給付等の支給決定を行うための認定調査を実施し、あわら市と共同で「坂井地区支援区分認定審査会」を坂井地区広域連合に設置することにより、審査の公平性を図ります。
実施手法等	<ul style="list-style-type: none"> 介護給付等の申請に基づき認定調査等を実施し、一次判定をする。 障害支援区分認定審査会にて二次判定を実施し、支援区分を決定する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,149	1,495	1,576
	人件費	2,484	782	843
	総事業費	3,633	2,277	2,419
人員	正職員	0.37 人	0.11 人	0.12 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.37 人	0.11 人	0.12 人
財源内訳	国県支出金		546	596
	その他特定財源			
	一般財源	3,633	1,731	1,823

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	審査件数	件	目標	105	180	190	90
			実績	113	179	189	90
			達成率(%)	107.62	99.44	99.47	100.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		目標値の設置はないが、認定審査会において、新規申請や認定切れの継続申請について確実に審査され支援区分が決定された。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない
	平成27年度までは、地域生活支援事業のメニューの1つで補助対象事業であった。平成28年度から補助対象外となった。
これまでの見直しや改善等の実績	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明	補助事業の対象外となったものの、必須事業であるためこのまま継続していく。また、あわら市と共同で実施することで広域的な取組みをすることにより、坂井地区で均衡性、公平性が保たれているため、このまま継続する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	451	障害者総合支援協議会運営事業							
中事業	01	障害者総合支援協議会運営事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-4	障がい者福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者総合支援法			
根拠例規	有	坂井地区障害者児自立支援協議会設置要綱			
関連計画・マニュアル	有	坂井市福祉保健総合計画、坂井市障害福祉計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	障害者総合支援法に基づき設置している協議会で、障がい者が地域で安心して生活することができるよう、坂井地区内の保健、医療、福祉、教育の関係機関が連携し、障害福祉に係る地域課題の共有、課題解決にむけた支援体制の強化を目指します。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> 協議会は、代表者会議、実務者会議、運営会議、専門部会という構成であわら市と共同で設置している。 専門部会は、「就労支援部会」「精神支援部会」「児童支援部会」「権利擁護部会」「相談支援事業所連絡会」「自閉症研修会」「事例検討部会」があり、それぞれが地域課題を整理共有しながら、課題解決に向けて研修や必要な取り組みをする。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	468	1,017	439
	人件費	2,819	2,986	2,600
	総事業費	3,287	4,003	3,039
人員	正職員	0.42 人	0.42 人	0.37 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.42 人	0.42 人	0.37 人
財源内訳	国県支出金		375	166
	その他特定財源	234	419	220
	一般財源	3,053	3,209	2,653

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	専門部会や研修会の開催回数	回	目標	25			
			実績	29	24	23	24
			達成率(%)	116.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		7つの部会ではそれぞれ計画的に部会を開催し、課題について検討したり、研修会を開催して資質の向上に努めている。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	協議会が設置されて10年の節目の年でもあるので、活動の振り返りをしながら、活動が慢性的にならないよう支援していく必要がある。	
これまでの見直しや改善等の実績	<ul style="list-style-type: none"> 福井地区や奥越地区の協議会と情報交換を実施した。 部会同士の合同会の実施 	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	01	社会福祉費	目	02	障害児(者)福祉費
大事業	501	障害者虐待防止対策事業							
中事業	01	障害者虐待防止対策事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務(義務的なもの)		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律			
根拠例規	有	坂井市障害者虐待防止事業実施要綱			
関連計画・マニュアル	有	坂井市障がい者虐待の防止と対応マニュアル			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	障がい者の虐待防止に関する事業を総合的に実施し、障がい者の虐待の防止及び早期発見により、迅速かつ適切な保護、養育者に対する支援を図ります。
実施手続等	<ul style="list-style-type: none"> ・養護者、障害福祉施設従事者等及び使用者による障がい者虐待に関する相談、通報または届出の受理する。 ・必要に応じて支援調整会議を開催し、関係機関と連携して虐待を受けたと思われる障がい者の保護のための相談、指導、及び助言をする。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	32	32	38
	人件費	1,544	1,351	1,124
	総事業費	1,576	1,383	1,162
人員	正職員	0.23 人	0.19 人	0.16 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.23 人	0.19 人	0.16 人
財源内訳	国県支出金	15	12	15
	その他特定財源			
	一般財源	1,561	1,371	1,147

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	虐待に関する相談・通報件数	件	目標				
			実績	9	8	6	13
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		電話や窓口で虐待に関する相談等を受けた件数					
指標	虐待認定件数	件	目標				
			実績	1	2	0	4
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明		相談・通報後、調査をして、虐待と認定し支援した件数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		虐待に関する相談件数が増加することを目標に設定するものではないが、相談件数の増加は、虐待防止に関する相談の周知が図られてきているという評価もできる。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	市職員が虐待受付や虐待調査を対応するため、面接や相談のスキルの向上が課題である。	
これまでの見直しや改善等の実績	虐待対応マニュアルを作成した。積極的に研修に参加したり、ケース会議等で経験を積んでいる。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	03	生活保護費	目	02	生活保護扶助費
大事業	051	行旅病人及び行旅死亡人取扱事業							
中事業	01	行旅病人及び行旅死亡人取扱事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-8	安定した社会保障制度の確立		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	行旅病人及び行旅死亡人取扱法			
根拠例規	有	坂井市旅行困難者、ホームレス及び自殺のおそれのあるものの一時的扶助費支給要綱			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	行旅病人、行旅死亡人・旅行困難者・ホームレス・自殺企図者等を一時的に救護することを目的とします。
実施方法等	<p>■行旅病人、行旅死亡人の救護 それら病人や死亡人が発見された所在地の市町村が行う。それらに要した費用は当該市町村が一時的に立て替え、本人等の費用弁償がない場合は取扱地を管轄する県が負担する。</p> <p>■旅行困難者・ホームレス・自殺企図者等の一時扶助 目的地である市町村へ赴く場合、または出身地等まで送り届けることが最良の場合</p>

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	32	2,362	283
	人件費	3,289	2,986	1,687
	総事業費	3,321	5,348	1,970
人員	正職員	0.49 人	0.42 人	0.24 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.49 人	0.42 人	0.24 人
財源内訳	国県支出金	0	1,227	236
	その他特定財源			
	一般財源	3,321	4,121	1,734

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	行旅病人、死亡人数	人	目標	3	3	3	3
			実績	0	15	3	2
			達成率(%)	0.00	500.00	100.00	66.67
指標の説明							
指標	行旅病人、死亡人支給額	千円	目標	400	400	476	476
			実績	0	2,357	251	179
			達成率(%)	0.00	589.25	52.73	37.61
指標の説明							
指標	ホームレス・自殺企図者の帰来先への一時扶助費	千円	目標	400	400	500	500
			実績	32	28	30	29
			達成率(%)	8.00	7.00	6.00	5.80
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	法に基づく支出のみ。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	03	民生費	項	05	災害救助費	目	01	災害救助費
大事業	001	災害救助事業							
中事業	01	災害救助事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	災害救助法			
根拠例規	無				
関連計画・マニフェスト	有	坂井市地域防災計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	災害に際して、国が地方公共団体、日本赤十字社その他の団体及び国民の協力のもとに、応急的に必要な救助を行い、罹災された市民の保護と社会の秩序の保全を図ることを目的とします。
実施手法等	坂井市内で災害等に罹災し、現に救助を必要とする方に対し、必要な援助を行います。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	0	0	0
	人件費	738	71	70
	総事業費	738	71	70
人員	正職員	0.11 人	0.01 人	0.01 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.11 人	0.01 人	0.01 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	738	71	70

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	災害発生時において必要となる事業のため、指標の設定が難しい。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない 発災時に備え、平常時より関係機関との連携を保つ。
これまでの見直しや改善等の実績	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
大事業	151	墓地埋葬取扱事業							
中事業	01	墓地埋葬取扱事業							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	墓地、埋葬等に関する法律			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	墓地、埋葬等に関する法律に基づいて発生した場合、適切に処理する。
実施手法等	住所氏名が明らかな場合の死体の埋葬または火葬を行うものがないと判明した時は、死亡地の市町村が行うことになっている。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	66		
	人件費	671	782	422
	総事業費	737	782	422
人員	正職員	0.10 人	0.11 人	0.06 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.10 人	0.11 人	0.06 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	737	782	422

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標			目標				
			実績				
成果			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			指標の説明				
指標			目標				
			実績				
成果			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			指標の説明				
指標			目標				
			実績				
成果			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			指標の説明				
指標			目標				
			実績				
成果			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
			指標の説明				
指標に基づく評価	墓地埋葬等に関する法律に基づき発生した場合に実施する事業のため、指標の設定が難しい。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	13	諸支出金	項	02	基金費	目	04	福祉基金
大事業	001	福祉基金							
中事業	01	福祉基金							

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	6	誰もが笑顔で暮らせるまちづくり	所管部局	市民福祉部
	基本計画	6-1	地域福祉の充実		社会福祉課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	内部管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市福祉基金条例		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	坂井市福祉基金条例に基づき設置した福祉基金を適切に管理し、地域福祉の充実を図ることを目的とします。
実施手法等	福祉基金の元金利子及び、市民・企業からの指定寄付を基金に積み立て、福祉事業に必要と認められる事業に充当する。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,068	3,092	2,142
	人件費	671	427	562
	総事業費	2,739	3,519	2,704
人員	正職員	0.10 人	0.06 人	0.08 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.10 人	0.06 人	0.08 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	2,068	3,092	2,142
	一般財源	671	427	562

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	福祉基金積立金	千円	目標	2,176	3,165	2,187	2,185
			実績	2,068	3,091	2,142	2,077
			達成率(%)	95.04	97.66	97.94	95.06
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	ほぼ目標を達成している。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
これまでの見直しや改善等の実績			

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明					